広報 にのみや

第170号　発行日 2月15日　編集 二宮町広報編集委員会　発行 二宮町企画課　二宮919番地　電話72—1811

	1月1日現在	前月との比較
人口総数	25,166人	＋4人
男	12,488	＋5
女	12,678	△1
世帯数	6,841世帯	＋16世帯

（人口統計より）

位置と学区を求めて

第二中学促進委が発足

十二月九日、「仮称二宮町立第二中学校建設促進委員会」が発足しました。

この委員会は、中学校がもう一校必要というところから、仮称町立第二中学校を一日も早く建設するための調査や検討を行ない、町や町議会に建設促進のための意見を述べたりするものです。

二宮中学校は、昭和二十三年五月の新発足時、生徒数は六百人、十三学級でした。その後、増改築を重ね、現在二十五学級、千五十人の生徒が学んでいます。

昨年五月の教育委員会の調査によると、昭和五十五年には千三百人、三十学級に達するものと予想され、校庭やその他の施設の面からも、近い将来、町内に中学校がもう一校必要となってきました。

中学校を増設するためには、数億の建築費のほかに広大な敷地が必要であるばかりでなく、生徒の通学に対する配区や位置の検討をしておかねばなりません。

十二月九日の第一回の促進委員会議では、仮称町立第二中学校の必要性が訴えられ、位置と学区について調査、研究のうえ町長と議会議長に答申してゆくという方向付けが言められました。一月二十七日の第二回促進委員会議では、全町的な観野に立って位置と学区を検討すべく、同委員会内に建設小委員会を設置しました。

◎仮称二宮町立第二中学校建設促進委員
教育委員長　杉崎　保
教育委員　高木　定雄
〃　松本　新一
〃　西山　ウメ
二宮小学校長　加藤　良助
一色小学校長　伊勢田博司
二宮中学校長　竹内　寛
〃　教頭　鈴木　至郎
二宮小PTA会長　大橋　芳雄
〃　〃　副会長　小沢宣代蔵
〃　〃　〃　島崎　悦子
一色小PTA会長　星　啓二
〃　副会長　小林千鶴子
〃　〃　松原マサ子
二宮中PTA会長　野原　寛
〃　副会長　松本　英夫
〃　〃　〃　坂木　盛子
〃　〃　〃　大塚鉄之助
○区長会長　宮戸　英夫
〃副会長　武政　兼敏
一色区長　田代　忠秋
中里北区長　水島　等吉
上町二区長　田代　良輔
下町二区長　山口　八郎
越地区長　刑男
金野区長　原　敬一
石井　武雄
石川　三雄
五島　千代
高橋　政治
山崎　国光
小沢シズ子
伊達　正男
金子　政次
井上　進
原　清治
府川　貞雄
（○は委員長、○は副委員長）

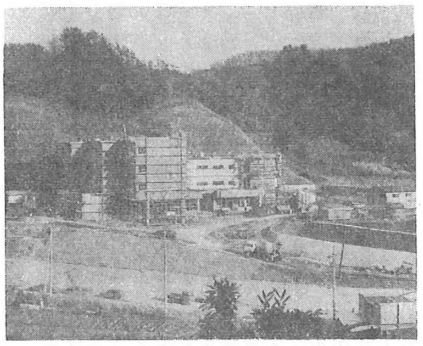
山西小工事大詰へ

昨年七月起工した町立山西小学校の建設工事は、昨年十二月末に南館三階建て普通教室十六、そして管理室などの本体コンクリート打ち込みを終り、建築外観工事が完成しました。

現在は、南北両館の内外のモルタル仕上げ、窓わくの取り付け、給排水、電気、そのほか内部設備など、日夜わかたぬ急ピッチの作業が進められています。

山西小学校は、本年四月の開校にのぞんで、約百六十名の新入学児を迎え、現在、二宮小学校や一色小学校に通学している児童のうちから約七百名が、山西小学校へ移ってくることになります。

一方、教育委員会では、山西小学校準備事務局として、教職員の配置計画の作成や、編入学の事務手続き、机、いすなどの備品や教材類などの発注も大方完了し、開校を待つばかりです。



山西小竣工にあとわずか（2月3日）

「公益」の公社が適当

審議会、清掃行政の答申

十二月二日、二宮町衛生処理事業審議会（鈴木平八郎会長）では環境衛生センター桜美園の操業開始に先立って、かねてより諮問を受けていた町の衛生処理事業の改善方策についておよそ次のとおりの答申を行ないました。

答申は、町民の生活水準の向上にともない、排出される廃棄物が質量の多様化と増加の一途をたどる現在、再検討の必要があるとして、サービスと財政の関係、町と住民の責任分担など、七つの方向からの調査、検討の結果を述べています。そして、清掃事業は基本的には「公社制度」の採用が望ましいが、事業の持つ特殊性と複雑性から、一挙にすべての改革をはかるより、むしろ緊急性の度合に応じて段階的に改善に取り組むことが適当であるとしています。

▽　▽　▽　▽　▽

サービスと行政

最少の経費で最大の効果をあげるため、清掃事業の合理化はもとより、財政負担率の見直しを行ない、住民サービスの向上と官僚化の防止のため、柔軟性のある公社制度への移行が最善と考えられるが、職員の待遇問題などもあるので、確固とした計画を立て、移行時期を選定しなければならない。

町と町民の責任

清掃事業は諸法によれば、町の責任はもとより一般町民の協力が必要とある。事業の推進にあたっては、財政面においても町民はその責任の一端をになうべきであり町民の理解と協力が得られるよう啓発と体制づくりに努力すべきである。

生産性と経済性

民間の同種、類似の事業を調査比較した結果、現在の町の清掃業務が民間企業と同様の能率（生産性、経済性）をあげているか疑問であり、清掃事業のレベルアップには合理化と職員の資質向上が必要である。

浄化槽の掃清

町内の浄化槽の清掃を業務とするには、厚生省がきめた技術基準に適合し、町長の許可が必要とされている。

浄化槽の清掃業については、法律に従った適正な処置を早急に講ずべきであるが、同時に、将来を展望しつつ、この問題に対処しなければならない。

桜美園の運営

桜美園の運営には、特殊技術と経験を必要とするなかで、人事の交流と啓蒙に意を注き、職員の動労意欲をさまたげるようなことがあってはならない。

モニター制度

町民の意見や要望を清掃行政に反映させ、また、より民主的な運営をはかるためのモニター制度の設置は、将来の展望をふまえ段階的な改善と清掃事業全体との関連を考慮し、行なうべきであろう。

公社制度

清掃事業の実態に、公社制度をとる場合、現在の職員の待遇問題住民対策とPR問題、公社設立のための整理などの問題を解決しておかなければならない。

公社制度のメリットとして、生産性と経済性の向上、専門職による高度な技術の会得、官僚化の防止、財政負担率の軽減などがあげられる。

公社制度には、公益法人、営利法人、中間法人と三種類あり、町の清掃実態と浄化槽の清掃業の法律的問題を考え合わせれば営利法人の設立が考えられるが、公共性と公益性を重視して、「公益法人」が適当と答申する。

処理作業は順調

見学者が続ぞく

その後の桜美園

十二月十三日に操業を開始した環境衛生センター桜美園は、その後一日平均二〇キロリットルの収集し尿の受入を続け、処理作業が順調に続けられています。

一方、わが国最高の技術と設備を備えたこの施設を見学に訪れる人たちが引きも切らず、遠く北海道や四国からやってきます。町内の各団体も、例えば南新道地区の役員グループ、ロータリークラブなどが大勢で訪れています。

なお、ロータリークラブ（二見正平代表）では、一月二十六日の見学の際、清掃作業員三〇人に作業用ビーターを寄贈しました。

十二月十三日に操業を開始した環境衛生センター桜美園は、その後一日平均二〇キロリットルの収集し尿の受入を続け、処理作業が順調に続けられています。

一方、わが国最高の技術と設備を備えたこの施設を見学に訪れる人たちが引きも切らず、遠く北海道や四国からやってきます。町内の各団体も、例えば南新道地区の役員グループ、ロータリークラブなどが大勢で訪れています。

なお、ロータリークラブ（二見正平代表）では、一月二十六日の見学の際、清掃作業員三〇人に作業用ビーターを寄贈しました。

こんにちは 山口です

私たちの郷土二宮は、町の発展に伴って、学童の数がふえたため、本年から新しく山西小学校を開校することになった事は既にご承知の通りでありますが、小学校を卒業する児童は必らず中学校に進むわけですから、必然的に中学校の対策についても考えねばなりません。

現在の二宮中学校も昭和五十二年度には千二百余りの生徒数になって教室が不足するために、プレハブ校舎を建てなければならない始末であります。

そのような実態ですので、昨年、中学校のPTAを中心として町民から、早急に第二中学校を建設してもらいたいという請願が町の議会に提出されました。

議会では、こうした請願を受理し、採択されたので、教育委員会は、中学校長、小中学校PTA及びその他関係各種団体代表者ならびに知識経験者と教育委員の、およそ五十人の人たちを委員に委嘱して「仮称二宮町立第二中学校建設促進委員会」を構成して昨年の十二月九日に発足させました。

委員の任務は、委員会発足の第二条に「委員会は、仮称二宮町立第二中学校の建設促進をはかるため、諸調査及び審議を行い、町並に町議会に建設促進の建議を行う」とうたってあるように、どこまでも町及び議会への建議機関であります。

なお、委員の互選の結果、不肖私が委員長に、区長会長の大塚鉄之助さんが副委員長に選ばれました。

もとより、不敏不才の私ではありますが、できるだけ努力して目的の達成につとめる所存ですから、今後ともよろしくご叱正、ご鞭撻をお願い致します。

委員会は、年の改まった一月二十七日、第一回の会合を持って建設促進の推進方法の今後の在り方について協議しました。

その結果、先ず急ずべきことは学校の位置をどこにするかであるが、これは重大なことで軽々に定められるべきものではない。慎重に事を運ぶために当ての小委員を中心に進めることが望ましいとのことで、各種委員の中から十五人の小委員を挙げました。

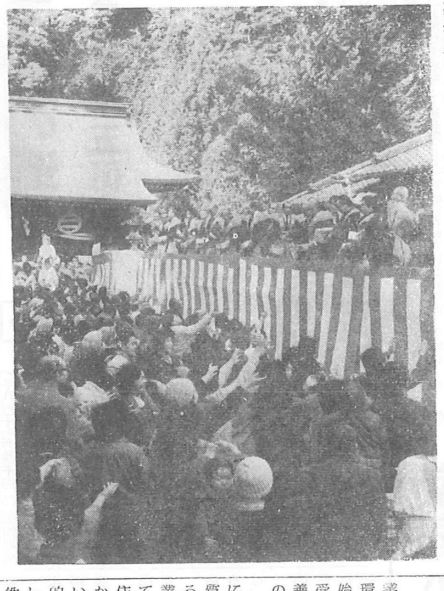
今後は、こうした小委員を中心に、全体の委員も町の各地を回って適地を調査することは勿論のこと、住民の皆さん方の声もよく聴き、その他にもあらゆる角度から検討した上、教育の町二宮にふさわしい第二中学校の建設位置を定めて建議するつもりです。

因みに、町としては昭和五十二年内に場所を定めて準備にかかり昭和五十五年度に開校したいとの事ですから、建設促進委員会としては遅くも本年の十月末頃までには何とか目鼻をつけて、委員会として意見を町及び議会に建議したいと思っていますので、町民各位もご意見やご希望を寄せていただければへんありがたいと存じます。

仮称二宮町立第二中学校建設促進委員長　山口　八郎

（原文のまま）

節分祭



「福は内」「鬼は外」、立春を前に一年の幸福を願い福豆をまく年男。首尾よく受けた参拝者の表情が一瞬ゆるむ。（川匂神社）

正副議会議長の選挙

一般会計二十五億円へ

12月議会

二宮町議会昭和五十一年度第四回定例会は十二月十四日から十六日まで開会され、正副議長選挙、各常任委員会委員の改選、監査委員任命の同意、決議、陳情などのほか昭和五十一年度補正予算案など五件の議案や報告や議員六氏による一般質問がなわれました。

主な審議

◎議会議長の選挙
鈴木平八郎議員が再選されました。

◎議会副議長の選挙
井上浩議員が当選しました。

鈴木　議長

井上副議長

◎各常任委員会委員の改選
総務企画常任委員会―委員長書渡貢雄、副委員長小沢富男、委員内海電彦、井上浩。
社会文教常任委員会―委員長奥脇島繁、副委員長落合恒雄、委員結城芳政、西村鏑弘、井上幸光。
経済環境常任委員会―委員長古沢時衛、副委員長橋川光雄、委員藤祥三、原兼太郎、鈴木平八郎。
建設常任委員会―委員長野谷長蔵、副委員長神保信三、委員加藤秀哉、山田近雄、運実金一郎。

◎監査委員の任命

内海監査委員

◎児童遊園地条例の一部改正
歩の途中に聞く雲雀の声、行きずりに見つけた土筆の群立ち、季節により天候により一日の中の時間により無限に移り変る海の色、そのような細々したことが折に触れて強い印象を与えてくれます。東京から持って来た木や花草の花が別のもののように輝かな色に咲くのにも驚きました。

去年の十五夜の宵には東京にいて雨に洗われた空に明るい月を見た東京の空も大分濁ってしまったと思ったのですが、その足で二宮へ戻ってみると明るいというよりは広いばかりの月になるほどこれだけ空気が違うのかと感じたことでした。

ひとこと

松籟の下で

風土の良し悪しと人情の厚薄は短い間ではわからないという諺が中国にあります。東京からこの二宮に移って、海がごく近いお今の家に落着いてから半年余りその間に田代の方に仮住まいしていた時を加えても一年には足りないので、この土地について語る資格はまだないようです。

しかしその短い間にも東京での生活の中でいつか見失っていたさまざまのものをもう一度取戻すようという経験をしました。敬じたことでした。

秋祭合地区の四つの児童遊園地を正式に町の管理下に置くことにします。

原案のとおり可決しました。

◎仮称町立中里老人いこいの家新築工事契約の承認
中里九〇三番地閑星神社隣りに新設する老人いこいの家、千五百八十六万円の工事契約で、相手方は須藤工務店です。

原案のとおり可決しました。

◎一般会計補正予算
歳入歳出とも一億三千五百五十二万九千円の増額で、一般会計の予算総額は二十五億七千八百七万六千円となりました。

歳入の主なものは、山西小建設ともとなる国庶負担金四千八百五十三万七千円、県交付金の臨時特別交付金二千八百十四万八千円、山西小建設事業債五千四百万円、地方財政法の特例による財政対策債五千万円などです。

◎農業共済事業特別会計補正予算
四十五万一千円追加し、予算総額を四百三十一万円としました。

補正の内容は、夏の異常気象による水稲の被害、家畜牛の死廃病傷の増加などによる保険金や共済金の増額です。

原案のとおり可決しました。

◎公社共同住宅家賃値上げに関する意見書採択についての陳情
百合が丘団地家賃対策協議会の亀井明夫さんから百八十四名による陳情は「神奈川県住宅供給公社は、突然十二月からの家賃値上げを通告してきたが、経理内容の説明が不充分なうえ、百合が丘の維持費は七千二百万円の黒字をあげながら、これを赤字の他の団地に回わすのは、一団地一経理の公社の建前からしても不公平であるから町議会は県当局に対し、公正な扱いをするよう対策をとれ」というものです。

議会では住宅供給公社の係員や地元代表者の意見や説明を聴取して協議した結果、陳情の一部を了承し、口頭で公社に対し公正な扱い方を要望することになりました。

◎飲酒運転追放に関する決議
飲酒運転による悲惨な交通事故を町から追放するため、運転する者には絶対酒を飲ませない、飲まない、運転する業者には酒を出さない、飲酒をする会合には車で出席を禁止すると決議しました。

この決議の提案者は古沢時衛議員（提案賛同者は藤、内海、結城の各議員）でした。

債五千万円などです。

歳出は、役場新庁舎建設用地七千八百十七万四千円（二宮町開発公社より）、心身障害者医療費の増加七十五万二千円、越地、金野地区内の道路舗装費四百四十五万円、金野中里道路等の用地取得費五千九百二十三万五千円、二宮中プレハブ校舎建築費千三百六十五万三千円などが、その主なものです。

原案のとおり可決しました。

◎国民健康保険特別会計補正予算
歳入歳出ともそれぞれ二百十六万六千円増額し、予算総額を二億七千五百六十二万八千円としました。内容は高齢医療費の増加に対する国庫支出金の増額などです。

原案のとおり可決しました。

家庭から職場から

春の火災予防運動

2/28→3/13

春先は、特に空気が乾燥し、強い季節風が吹くなど、火災が発生しやすい気象条件の毎日です。

一宮町消防本部と消防署、消防団では、この季節に、町民のみなさんに火災予防を心がけていただき、火災の発生防止と人命損傷の事故防止をはかることを目的として、二月一十八日から三月十三日まで「火災は人災防ぐはあなた」を統一スローガンに、春の火災予防運動を展開します。

実施事項としては

◎家庭で火災予防について話し合おう
ア、たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
イ、暖房器具やガスコンロの正しい使用
ウ、就寝前や外出前の火の元点検の徹底
エ、消火用具や消火用水の運備
オ、火遊びの禁止とたき火の際の安全確認
カ、火災の際の消火活動や避難方法の周知徹底

◎学校や職場で火災予防について話し合おう
ア、火災予防に関する知識の普及
イ、消防用設備等の設置と点検と整備の完全実施
ウ、消防計画等の周知徹底と訓練の実施
エ、避難路の安全確保
オ、火気使用場所の整理整とん及び防災カーテン使用等による出火防止

なお、消防本部及び消防署では「広報にのみや」による火災予防運動の広報、消防車による町内巡回広報、ポスター、立看板の掲示等の広報活動や、運動期間の後期（三月七日～十三日）毎夜九時にサイレンを吹鳴、消防水利の点検調査、また、平塚市、大磯町との合同訓練の実施などを計画しています。

火災は人災、一人ひとりが火元に充分注意し、火災を起こさないようにしましょう。

見事な町の消防力

盛大だった消防出初式

好天に恵まれた一月七日、二宮中学校校庭で出初式が盛大に開催されました。

池田消防長らの指揮のもとに整列した署員、団員が町長はの多数の来賓、町民のみなさんにその精鋭ぶりを披ろうし、続いて町長、団長、来賓等による消防部隊、車両、機械器具等の点検やあいさつ、祝辞を受けました。

このあと、二宮町と婦連合会の方がたによる絶妙なはしご乗りの演技、暑・団員によるいっせい放水があり、力強い町の消防組織に来賓、観覧者のみなさんはかたずをのんでいました。

なお、式典で表彰された方がたはつぎのとおりです。（敬称略）

▽消防庁長官表彰（15年以上勤続し退団した団員）前第五分団長・雷木昭治、同班長・北原徹郎、同班長・石川明男　▽県消防協会浦南支部長表彰（優良団員）団本部副団長・後藤内蔵、第二分団長・小見敬章、第五分団長・井上光正　▽二宮町長表彰（10年以上勤続の優良団員）団本部副団長・後藤内蔵、▽二宮町消防団長表彰（5～10年勤続の団員）第一分団長・伊勢敏水、第二分団副分団長・市川正平、第三分団副分団長・松木弁太郎、第四分団班長・松本隆治、同班長・酒井稔、同団員・鈴木康之、同団員・内海四郎、第五分団班長・井上修二、同班長・北原義晴、同団員・椿川徳次郎、同団員柳川駅司　▽二宮町消防長表彰（消火協力者）二見竜男（入川包）、三沢石雄（二宮駅勤務）、鴨和会（二宮町自衛消防隊）、所信行（百合が丘）、山口光祥（百合が丘）、高見信行（北新道東）

二宮中にプレハブ校舎

本紙一面でもお知らせしたとおり中学生は年年増加し、昨年五月の教育委員会の推計によると本年四月には千百八十五人、二十五学級、来年には千二百五十一人、二十九学級に達すると予想され、現在保有する教室数では生徒の授業が困難となるため、新学期までにプレハブ校舎を建設することになりました。

この新校舎は、体育館の東側、本館の職員室や校長室の南側にあたる部分を敷地としています。

面積は約二百四十七平方メートルで、音楽、図書、美術の三種別教室に充てることになり、本館の特別教室を普通教室として、増加する生徒を収容しようとするものです。

プレハブ校舎の工事費は千二百二十五万円、そのほかに、いす、机、黒板などの備品などを合わせて購入し、新学期に備えます。

水島万寿氏

一月二十一日逝去、享年八十九歳。

水島万寿氏は、明治三十八年より昭和二十一年まで四十一年間にわたり、二宮小学校ではじめ県下各小学校で初等教育にあたり、退職後、昭和二十六年二宮町教育委員（公選制）に当選、以来、社会教育委員、固定資産評価審査委員農業委員などを歴任し、その功績により昨年十一月三日の町制施行記念日には自治功労者として表彰されています。

故水島氏の生前の功績に感謝いたすとともに、慎んでご冥福をお祈りいたします。

私の思うまま

この原稿を書くについて、実に苦労してしまいました。

もともと文章を書くことが、何よりも不得手なうえに、日頃から、私などに考えることなどいくつかまとめてはみたものの存外、それは、人様の受け売りが多いことに気づきました。

何度も書き直して、考え直してのごろになって、自分の進路がとうとうこんなものに落ち着いてしまいました。

ともかくも、自分の思うことを、要領良く一つの文章にまとめることが、こんなにも大変持ちはじめ、数学が好きになるとは思いませんでした。これからは、このような訓練もしなければならないことを、つくづく痛感しました。

ところで、二宮町に転入してきたとき、まだ小学校六年生であった私が、もう二十をいくつか過ぎる年頃になってしまいました幼い頃は、自分が大きくなって何になるのかわからずに、テレビなどの影響で、その都度、憧れが変っていくようなたわいのないものでしたが、こ

ある時、忽然と、数学に興味を持ちはじめ、数学が好きになるという出来事（少なくとも、わが家では事件でした）がありました。父は中学生のころ、数学と聞いただけで鳥肌が立ったと言いますから、数学にはおそらく縁の薄い血筋だと思うのですが。

私の場合、数学の先生の指導によるところが大きかったと思うのです。そこで私は、数学を敬遠する生徒に適切な指導をする教師につきたいと思うのです。

余り苦労しなくても、良くできる人がいます。そのような人には、できない人の苦労がよく理解できないのではないかと思うのです。そこへいくと私はできが悪かっただけに、その苦労が十分わかります。

今、大学で数学を専攻していますが、この勉強を社会に出たとき、少しでも役立てられるようにと思うとき、以前にも増して、新たな力がわいてきます。

私の、大学卒業後の進路決定は、少し遅かったように思えますが、目標がかたまってから、日々の全てが、充実してきたように感じられます。

私たちは、やがて親から独立して、社会の一員として、それぞれの役割を荷うことになります。そのためには、目標を立て、ひたむきな努力が大切だと思います。

百合が丘一三一二一二
三部ゆき子
（昭和29年生）

町の動き

12月1日～1月31日

12月7日　町議会衛生センター建設特別委員会
9日　仮称町立第二中学校建設促進委員会
10日　町議会駅南口改良対策特別委員会
町議会建設常任委員会
11日　環境衛生センター「桜美園」竣工式
14日　町議会第4回定例会（～16日）
23日　農業委員会総会
1月5日　賀詞交歓会
7日　消防出初式
19日　農業委員会臨時総会
27日　仮称町立第二中学校建設促進委員会
町議会社会文教協議会
農業委員会総会
町土地開発公社理事会
28日　庁舎建設委員会

たずねやすい街へ

秋葉台などに住居表示

町では、町民のみなさんの日常生活の不便や、町の住居地（番地）の表示を改善するため、「住居表示に関する法律」にもとづいて市街地区域の住居表示事業をすすめています。

新しい住居表示を実施するにあたり、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

わかりにくい「番地」

わたくし達は、現在「住所」の表わしかたに「番地」を用いていますが、これは「土地の地籍番号である地番」を、そのまま「住居の番地」として用いています。

ところが、土地は道路の新設や拡張、土地所有者のつごうで、いつでも分筆や合筆ができます。したがって、地番が変ったり、欠番や飛び番があるかと思えば、同一の地番が多くなったり、隣りにけたちがいの地番があったりして、大変に混乱しています。そのため他人の家を訪ねたり、郵便物を配達するにも非常にわかりにくく、また、パトカーや救急車、消防車が指定された場所をさがすのに手間どったなど、いろいろな不便が生じています。

このように混乱した状態を整備するため、昭和三十七年に「住居表示に関する法律」が制定され、各都市においては既成市街地の大部分の地区で実施されています。

住居表示の整備地区

昭和五十二年度に、住居表示の整備を予定しているところは、秋葉台地区、田代区画整理地区、湘南二宮グリーンタウンの三地区で宅地面積約二五・四ヘクタール（七六、八六五坪）、予定対象世帯は約十二世帯で、夏から秋にかけて実施する予定です。

住居の表示

新しい住居表示の方法は、従来の土地の番地のかわりに、街区方法で、住居に番号をつけるというものです。

〈例〉
二宮町○○○丁目○番○号
町丁名　街区符号　住居番号

街区方法は、公道、河川等の恒久的な施設で、はっきりした境界を区画し、一つの街を作り、新しい町、丁名がつけられます。

なお、住居表示についてのおたずねは住民課へ（電話71－〇七六七）

使い捨てへの反省

婦人団体が消費生活展

三月六日、公民館で第二回二宮町消費生活展が開催されます。

この消費生活展は、日本経済の高度成長のなかで、消費は美徳と使い捨てに慣らされてきたわたし達の生活をもう一度見直すための好評だった昨年に引き続いて、婦人会、消費生活研究会、母親クラブ、西浦生協二宮支部、新日本婦人の会など町内の婦人団体、消費者団体などが消費者団体等連絡協議会を結成して開催するものです。

会場には、

①不用品の展示、即売コーナーとして、衣類、日用品類の展示、即売と無添加食品類の展示。
②修繕、再利用の実演及び相談として、ほうちょう、はさみ、しょうゆ、電気器具等を専門家が修繕し、指導する。
③計量器の検定、相談コーナーとして、一般家庭用のはかりや体温計などの検定や、取扱い方についての指導。
④消費生活相談コーナーは、消費生活コンサルタントなど賢い買物や商品の苦情相談に応じる。
⑤消費生活のアイデア展示コーナーは、日頃なんとなく不自由を感じる暮しの中で、ちょっとしたアイデアが生活を潤おすという作品やリホームの展示
⑥園芸コーナーとして、しいたけ菊花などの栽培について実演、指導を行なう。

消費生活展の当日は日曜日、午前十時より午後四時まで開催しますので、ぜひおでかけください。

尋しのアイデアや消費生活展お問い合わせは経済課（公民館内電話72－二八一一）へ。

入札指名参加の申請

3月1日より受付開始

町が昭和五十二年度中に行なう工事等について、これを施行する業者の競争入札参加資格審査申請をつぎにより受付けます。

○対象者　工事請負業者（製造および修繕の請負業者を含む）設計業者、測量業者、地質調査業者。ただし、つぎに該当する業者は申請できません。

一、地方自治法施行令第一六七条の四に抵触する業者。
二、今年三月三十一日現在、同種の営業期間が、継続して二年に満たない業者
三、町が指定する町税等を納付していない業者
四、営業に必要な許可または認可等を受けていない業者。
五、事業共同組合、入札に参加しようとする業種が定款に共同受注の定めのない場合。

○受け付け期間　三月一日～三月三十一日まで。

○提出方法　持参または郵送

○提出書類　工事入札参加資格申請書ほか十四点（建設省統一様式）を五つのファイルにとじて提出する。用紙は神奈川県庁でお求めください。

その他　申し込み、お問い合わせは建設課へ（電話71－〇七六七）

道路、側溝工事のお知らせ

現在、町ではつぎの六か所について工事を進めています。

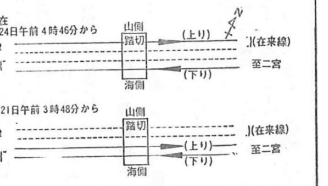
付近の方がたや通行者のみなさんには、完成までの間ご迷惑をおかけしますが、早期完成のためにご協力をお願いします。

① 町道一三三号線舗装工事（金野地内）
工事完了予定　三月十日
② 梅沢地内道路舗装工事（梅沢西地内）
工事完了予定　二月一二八日
③ 元町（新柏木）地内側溝新設工事（北新道東地内）
工事完了予定　三月三十一日
④ 町道一六号線舗装工事（上町中町地内）
工事完了予定　三月三十一日
⑤ 町道三九線舗装工事（金野地内）
工事完了予定　三月四日
⑥ 町道六三号線舗装工事（開拓道路）
工事完成予定　三月三十一日

松浦踏切など通行にご注意

国鉄の複線化工事として、山西地域内を通過する東海道線の列車や電車の上下線が、在来線の南側の新しい線路にきりかわり、上下り線は一月二十四日から、上り線は二月二十一日午前三時四十八分から、新しい線路で走ります。

これにより、金野踏切（梅沢）と松浦踏切（越地）の踏切道が長くなりましたので、線路南北地域の往来には歩行者、運転者とも充分にご注意ください。



お年寄りを守ろう

厳冬の交通安全対策

二月一日から二十八日まで、老人の交通事故防止対策が進められています。

老人（六十歳以上の高齢者）の交通事故が冬期（一月～三月）に多く、神奈川県下でも一昨年の交通事故により死亡したお年寄りの人数は一月二十四日に一〇人、昨年は一七人と増加しています。

この運動は3年寄りの活動のにぶる冬期の交通事故を防止するため、お年寄り自身と、これをとりまく人びとに対し、交通安全意識の向上と、老人を守る社会的交通をつくりだすことを目的に、二宮町交通安全対策協議会、老人クラブ連合会、大磯警察署、大磯地区交通安全協会などが協力し、「この町から老人の交通事故をなくそう」をスローガンに、交通安全指導の強化、老人福祉施設周辺の安全施設、交通規制の見直し、交通取締りの強化、交通安全広報などの運動を展開しています。

サリドマイド補償

健康相談セミナーなど

この運動は3年寄りの活動のにぶる冬期の交通事故を防止するため、お年寄り自身と、これをとりまく人びとに対し、交通安全意識

サリドマイド裁判の補償

先頃、「サリドマイド訴訟」については和解が成立しましたが、訴訟を起こさなかった被害者の方がたにも、この和解に準じて補償がなされます。

サリドマイド製剤の服用により被害を受けた方は二月二十八日までに、直接はがきか封書で宛先きは、〒100東京都千代田区霞が関一二一二、厚生省環境衛生局企画課（電話〇三－五〇一－四八七五）へお申出ください。

母子歯科教室

とき　三月一日　午後一時三分
ところ　平塚保健所
対象　三月中に満一歳になるお子さんのあるお母さん（母子手帳と筆記用具をご持参ください）
お申し込みは「健康づくりセミナー」に同じ

サリドマイド裁判の補償

「サリドマイド訴訟」については和解が成立しましたが、訴訟を起こさなかった被害者の方がたにも、この和解に準じて補償がなされます。

サリドマイド製剤の服用により被害を受けた方は二月二十八日までに、直接はがきか封書で宛先きは、〒100東京都千代田区霞が関一二一二、厚生省環境衛生局企画課（電話〇三－五〇一－四八七五）へお申出ください。

母子歯科教室

とき　三月一日　午後一時三分
ところ　平塚保健所
対象　三月中に満一歳になるお子さんのあるお母さん（母子手帳と筆記用具をご持参ください）
お申し込みは「健康づくりセミナー」に同じ

健康づくりのセミナー

平塚保健所では、若い世代に公衆衛生や食生活の知識、技術の普及をはかるため、「明るい健康づくりセミナー（健康づくりの食生活）」を開催します。

とき　二月21・28日、三月7・14日、いずれも午後一時より三時まで
ところ　平塚保健所講堂など
受講資格　二十代～三十代の女性（継続して出席可能の方）
費用　無料、教材実費　五十名
お申し込みは、はがきか電話で〒251平塚市豊原町六一二一　神奈川県平塚保健所保健予防課（電話〇四六三－32－〇一三〇）へ。

成人保健相談

対象　県内在住、在勤で四十歳以上の方
検査項目　血圧、心電図、眼底、血液、尿検査等
費用　二千五百～三千五百円程度
お申し込みは「健康づくりセミナー」に同じ

六キロに健脚競う

新春ロードレース

一月十五日、寒風吹きすさぶなかを、六十歳の福井喜彦さんをはじめ老若男女百十九名（一般十五名、中学生百四名）の参加を得て第九回二宮町ロードレース大会が開催されました。

コースは、一般の部が一色小学校前、中学生が金野老人いこいの家前からスタート、川匂を経て吾妻神社入口まで六・六キロ（中学生三・三キロ）を会員が完走しました。

優勝者はつぎのとおりです。

二十九歳以下　朝日山一男
三十九歳以下　松本　良克
六十歳以下　多田　昭二
中学生　男子　小清水　実
〃　女子　中村真奈美

住民の声

福祉予算を

国や地方自治体の予算原案が連日のように報道されています。当町でも予算編成作業が進んでいることでしょう。

この予算は私達の税金でありその税金の使途に私達は無関係ではいられません。

福祉（特に老人、障害者等）を重点に教育、防災関係を充実させ、その他不用不急の事業は極力抑制するように努め、住民要求には積極的に取り組み、住民の福祉に替えています。

健康は体育から

私達サラリーマンにとって何よりも健康は資本です。気候温暖な長寿の里二宮に住んで喜んでいます。長寿の里の名は水、年強労働や農作業によって町民のみなさまが健康増進を培った賜物で、大変立派な名声です。長い年月を経て獲得した名声は全町民にとって今後も堅持していかなければならない義務があると思います。

町人口の大半がサラリーマン世帯ですので名声保持のためにはできる限り体育の増進を努めるべきであります。町当局としても、もっとスポーツの振興に努力を傾注してもらいたいと思います。

スポーツ施設の設置には相当の予算が必要だと思いますが、その他体育加盟団体の増加拡充、体育指導員の委嘱、加盟団体に全町民の参加、各種町民大会の開催等により、スポーツ精神の向上と体育の増進は充分可能だと思います。

特に町民全体の運動熱の高揚には、スポーツによる供給性で一層深まり、健康増進となり、長寿の里二宮の名を充分堅持できることにはないでしょうか。

百合が丘二一二三一五
草柳　昭（44歳）

野犬の退治を

最近、野犬が増え、直接の被害はまだ発生していませんが、いつ咬傷事故が起こるかわからない状況です。

野犬は少し頃減ったように思えましたが、最近は増加が激しく、幼稚園児などは一人で帰宅するのをこわがっています。おとなの私でさえ、極力目が合わないように注意しています。

これは、犬を飼う人のモラルやちょっとした注意である程度防げると思います。

また、犬管理センターや衛生課でなんらか対策を講じていただきたいと思います。

中里八八二－一三〇四
大伴美保子（35歳）

お答え　近所に野犬がいるときや、犬により被害を受けたとき（ただし、咬みつかれた場合は平塚保健所へ。電話〇四六三－32－〇一三〇）犬のために環境が不潔で困っているとき、その他のことで問題がありましたら左記へご連絡ください。この場合、実情をよく知っている方がするのをこわがっています。おとなの私でさえ、極力目が合わないように注意しています。

神奈川県犬管理センター
電話〇四六三－58－三四一一
（衛生課）

まちの文化財

歴史をたずねて

中里囃子

今からおよそ百五十年前、江戸文化華やかな文化文政の頃に発生した祭り囃子（ばやし）が、中里の鎮守明星神社の祭礼奉納飾りがパントマイム的に演じられ、にぎやかな明るさを盛り上げるのに一役買っています。

昨年は県民祭実行委員会主催の「県民祭実行委員会」にも出演し、好評を博しました。

笛、大太鼓、小太鼓、鉦を使い、静と動が非常にうまく表現され、代表的な宮昇殿、キザミ、ハヤシ、四丁目、仁羽、治昇殿、神田丸の七曲が伝えられています。また、化文政の頃に発生した祭り囃子（ばやし）が、中里の鎮守明星神社の祭礼奉納飾りがパントマイム的に演じられ、にぎやかな明るさを盛り上げるのに一役買っています。

昨年は県民祭実行委員会主催の「県民祭実行委員会」にも出演し、好評を博しました。

ありがとうございました

年末たすけあい運動

年末たすけあい運動に、町民のみなさんや各団体、企業の方がたの温かいご協力をいただき、まことにありがとうございました。

みなさんからお寄せいただいたお金は百二十一万五千八百一円で別に社会福祉に寄せられた五万円と町社会福祉協議会の義出金六万八千百十九円とを加えた合計三十三万三千九百二十円を、そのほかに寄せられた品物といっしょに在宅保護世帯、在宅要保護世帯交通遺児世帯、社会福祉施設入所者、特別重扶養手当受給世帯、児童扶養手当受給世帯、ねたきり老人世帯、在宅一人暮し老人、それに町内の社会福祉施設二カ所へ贈りました。

ご協力をいただいた方がたは次のとおりです。

○戸別募金
七十八万七千二百十三円
○二宮町婦人会
二十三万六千百九十七円
○ときわ会
三万円
○日赤部仕団
五万円
○下町子ども会（中学生・子ども会育成会
一万円
○二宮ライオンズクラブ
五万円
○大日本土木二宮作業所
四千二千二円
○百合ガ丘二丁目子ども会
八千九百四十円
○テイク・オフ（フォークグループ）
二千二百円
○二宮中学校（生徒会）
三万五千二百二十二円
○つくし会
もち白
○一色小学校
五千十七円
○大日本化学工業
五千円
○駕悲家
デコレーションケーキ七十六個
○大山岡天利神社
米百キログラム

園芸メモ

マツの話

白砂青松　これは古来美しい日本風景の代名詞でした。しかし最近、都市化、排気ガス、害虫（マツノマダラカミキリの媒介によるマツノザイセンチュウ）などのため、急激にこの風景が失なわれて行くことは、まことに残念です。

マツの仲間は世界で百種近くもありますが、園芸用に使われるのはアカマツ、クロマツ、ゴヨウマツとその変種、園芸品種が主なものです。

（適地）アカマツ、クロマツとも、日当り、風通しのよい所を好みます。

アカマツは乾燥地に適し、塩風に直接当るような所や、空気の汚れている所には、育ちがよくありません。クロマツはアカマツより環境の適性が強く、温気の多い所から乾燥した所まで、よく育ちます。ゴヨウマツは前の二つよりも日陰に耐えます。

（移植）マツの移植は二月下旬から四月までがよく、大木は根廻しを一年前くらいからしておきます。植付けは古くから水を使わない、「土植の」という方法が行われています。できれば静に「泥巻き」をして、幹からの乾燥や害虫（ネクイムシ）を防ぎます。植付後は小枝をせん定して、根との釣合いをとるようにします。

（手入れ）手入れとしては、春の緑つみと、秋から冬にかけてのせん定整枝です。四～五月頃新芽（ミドリという）が伸びはじめた頃、これを間引いたり、途中で切って枝を密に揃えて出させるようにします。

晩秋から冬にかけては、枯枝やからみ枝などを整理し、ついで小枝の出方が平均するようにせん定します。マツは葉の出ていない枝の途中からは芽が出ませんから、松葉のなかにある小さな葉の上で切るか、枝分れしている元の所から切ります。枝のあと、「モミアゲ」といって小枝の元にある古葉を指でとると、すっきりした気持のよいマツになります。

（病害虫）マツの病害虫はたくさんありますが、庭木として問題になるのは次のものでしょう。「マツケムシ」毛虫の小さいうちに、ティプテレックス乳剤、スミチオン乳剤、エルサン（ペプチオン）乳剤の千倍液をかけて駆除します。また、秋には幹にコモを巻き、春先きコモ虫がコモから脱けでる前に外して、焼く方法も行なわれています。

「シンクイムシ類」　シンクイムシ類には数種があり、幼虫もよく似ていて区別しにくく、年間の発生回数や、生活史も違います。防除も中々困難です。

春に新梢（ミドリ）を食い荒らし、八月頃まで食害します。前と同じ薬剤で結構ですから春から初夏にかけて二～三回かけます。また被害を受けた部分は切り取って焼却します。

「アブラムシ類」　早目にスミチオン乳剤かマラソン乳剤千倍液をかけて防ぎます。

（神奈川県園芸試験場）

子どもに広場を！

昨年暮れ梅沢に開設

子ども遊び場をあたえ、健康に育てるため、遊休地がありましたらお貸しください。

昨年十二月二十日には、梅沢（内原踏切の南側）に「子どもの広場」を旭元の西山節子さんのご好意により開設することができ、周囲の子ども達から喜ばれています。

子ども達の安全な遊び場はまだまだ不足しています。これからも次のような遊休地をおもちのかたがありましたらお貸しください。

一、市街化区域内で遊在使用しない空地、荒地等。
二、面積は百八十五平方メートル（五十坪）以上。
三、借用期間は二年以上（ただしこの限りではありません）。

梅沢子どもの広場

沢井商店が一位

たばこ店舗コンクール

今回で十二回目を迎えた町たばこ夜間店舗コンクールは、十二月十三日の夜開催されました。

このコンクールは、町がたばこ販売組合、商工会、専売公社桑野営業所、桑野たばこ商業共同組合等の協力を得て開催したもので、町内の三十九店舗が参加し、重点陳列品は本各ブレンド派の「極」「チェリー」でした。

審査は堀専売公社桑野営業所長ほか十名により、照明、ポスターの掲示、装飾など七項目について実施しました。

その結果、茶屋の沢井善吉さんが第一位に選ばれました。

入賞者の方がたはつぎのとおりです。（敬称略）

①沢井善男・茶屋②西山佐代子・茶屋③早間節子・百合が丘④江川勝・金野⑤加藤内造・下町⑥西山貝司・茶屋⑦西山長吉・中町⑧森好則・梅沢⑨松本とみ子・谷戸⑩栗山ゆき子・一色⑪松本ヨネ子・梅沢⑫西山祖造・上町⑬宮戸節江・梅沢⑭鶴木宣政・一色⑮近藤政子・原田

みなさんが町内でお買いになったたばこの代金の一部が町たばこ消費税として町の会計に入り、昭和五十年度は三千六百万円余の歳入でした。

モニター会と大磯署が交通遺児激励

十二月二十日、大磯警察署と交通モニター会では、二宮、大磯両町の交通遺児宅を激励訪問しました。

交通モニター会では昨年秋の全国交通安全運動期間中「ゆっくり走ろう」の交通安全「千社札」をつくり各方面に配布しましたが、そのときに交通安全運動に役立てほしいと寄せられた多くの善意と、交通モニター会員と大磯警察署員が基金を出し合って今回の訪問を行なったものです。

この日、交通モニター会の相田会長や大磯警察署の砂原交通課長らが、交通遺児のみなさんが、健康で明るく成長されることを願ってクリスマスケーキ、文房具などを贈って激励しました。

かしこい消費者

電気器具の値引き

〈相談〉東芝に弟が勤めているので、東芝インクスタアー・Kラジオ店よりルームエアコンを従業員価格（二割引き）で六月に購入しました。商品も価格も満足だったが、その後二週間ほどして友人が同じ商品を桑野市内の電気店から三割引きで購入した。なぜ、信用過剰な社内販売より、電気店の方が安いのか調べてほしい。（消費生活モニターより）

〈回答〉Kラジオ店の話

値引きをしても売りたい商品には次の四つがある。

① 一度売れたものが、お客様の都合で戻ってきた。
② アフタサービスはしない。
③ 商品の型が古い。
④ 時期はずれ。

以上の場合は茅ケ崎市内の大手スーパーや東京秋葉原等では安いと思うが、新型品に対しては社内販売の二割引きがどうみても限度と思う。桑野市内の電気店のように三割引きとは考えられず、欠陥商品が特別な事情があったのではないでしょうか。

東芝商事の話

社内販売は社員サービスの意味で、支払方法（一括払い、分割払い、賞与払い、その他）も考慮されているが、割引きは原則として二割引きとしているので、考えられない。店名がわかれば調べるのですが。より深く追求するには店名や所在地がわからないと調査できないということです。（経済課）

町消費生活モニターは常時このような通信活動をしています。

おしらせ

善意

◇社会福祉へ
①金四千円　二宮一四三〇　秋元和広・美穂さん
②金五万円　二宮町商工会
◇椎茸園へ
①油絵　山西九六九　村山正雄さん
②吉野桜　二宮町議会議員一同
③しだれ桜　二宮二二八九　神保信三さん
④吉野桜、作業服　二宮ロータリークラブ
⑤石灯籠　藤田電機製作所
⑥ヒマラヤシダ　山西三一二　脇　春芳さん
⑦鯉　中里一四九一　関山武治さん
⑧鯉　中里一三四一　水島利恭さん
⑨時計　二宮八〇三　武市晴午さん
⑩椅　二宮四八八　原宮士徳さん
⑪壁中電灯　二宮八三一　田島晴二さん
⑫ベンチ、掃除機（株）栗田工業
⑬時計（株）戸田建設
◇二宮町図書館へ
①子どもがはじめてであう絵本　五冊　ブルーナ作　小田原市橋団地一四一三　秋元愛子さん
②さびしい王様　北杜夫著　他四十一冊　山西九七一　五十嵐平吉さん
③山本有三集　他九冊　百合が丘三一八一　八国松宏さん
④山賊の娘　松本清張著　他四冊　内野　清さん

講座

婦人教養講座

社会福祉センターの主催で開講します。

日時　二月二十四日（木）十時～十五時
場所　二宮町社会福祉センター
講演（午前）「冠婚葬祭のマナー」
講師　小牧ひで子さん
実習（午後）「着つけ講習会」
講師　荒牧ツルヨさん（休憩）
十二時～十三時（会場入クラス室をご利用ください）
その他　着つけ講習会に帯締め（平打）、帯揚げ（しぼりゆかた）をご用意ください
申し込み　福祉課へ（電話73－〇一九四）

就学通知書は届きましたか

教育委員会では、このほど今春入学予定の小・中学生の保護者あてに就学通知書を発送しました。つぎに該当される方で通知が届かない方は早急に教育委員会（電話71－〇五四二）へご連絡ください。

小学生　昭和四十五年四月二日～昭和四十六年四月一日までに生まれた方。
中学生　昭和三十九年四月一日～昭和四十年四月一日までに生まれた方。

なお、小・中学生とも、生徒保護者の住所が二宮町にあり、現在居住している方。

電気こたつ

電気こたつは安全で簡単に使用できますが、ちょっとした工夫で、より効果的に使用することができます。

○ ダイアル調節で適温に

電気こたつの温度ダイアルを一度調節すると、そのままにしておくだけで適度に暖かくなるようです。室温やこたつの入る人数によって温度調節をしてください。ワット数の切り換え装置がついているものはスイッチを入れた時は強にして、暖まったら弱くしましょう。

○ こたつの下にはマットを

畳から逃げる熱量は意外に多く、マット一枚で保温力が増します。

また、マットを敷かないで使用すると、畳が乾燥し、いたみが早くなります。

○ カバーの中にも注意

電気こたつの発熱体は金属製の網カバーで包まれています。このカバーの中のほこりを取り除いてください。長年使っていると、網カバーがへこむことがあります。発熱体にカバーが接近すると危険です。正しい形に直してください。

電気についてのご相談は東京電力（株）平塚営業所（電話〇四六三－32－一九一一）へ。

暮らしの講座

二月～くらしの設計
15日　食生活とガンの関係　国立栄養研究所　岩尾裕之
22日　食事と栄養（なぜ肥満はわるいか）　女子栄養大教授　秋山房雄
三月～消費者問題を考える
1日　消費者問題のゆくえ（無関心層の主婦をとらえる）評論家　西川和子
8日　これからの暮らしはどうなるか（物価の動向と家計）東海大教授　佐原　洋
いずれも、会場は海星デパート平塚店6階の神奈川県平塚消費生活センター（電話〇四六三22－四〇九三）午後一時三〇分より。受講料は無料。

統計調査員募集

統計調査員を募集します。

この調査員は県に登録され、各種の統計調査をしていただくことになります。

応募者多数の場合は、居住地域などを考慮して採用します。

くわしくは企画課へ（電話72－一八一一）

町職員募集

職種　学校作業員
人員　男女各一名（大飼中）
年齢　概ね四十五歳以下
学歴　問いません
待遇　町給与条例により支給
提出書類　履歴書（写真貼付）、身分証明書、住民票の写し、健康診断書（郵送可）
受け付け　二月二十五日まで
問い合せ　総務課へ（電話71－〇七八七）

利用状況

○社会福祉センター（十～十二月分合計）
利用団体……三三三件
利用人員　二二、一六四人
見学者他……二、〇八六人
合計……一四、二五〇人
○二宮町図書館（十～十一月分合計）
学生・生徒……四、二七〇人
一般……九九六人
合計……五、二六六人

編集室

○この広報は二月十四日、企画課を発送しました。
○「広報にのみや」へのご意見などがありましたら企画課へお寄せください。電話72－一八一

今月の納税

固定資産税第4期分

2月28日まで